

◆ 四十二番（今井光子）

がん検診の受診率の向上について質問します。

奈良県のがん対策については、がん対策推進計画の策定が全国で最もおくれたスタートとなりました。計画の策定は遅くても、がん対策が進むように議員提案として、奈良県がん対策推進条例を制定するなど、積極的な取り組みを進めてきました。また議会では、全国に例を見ない議員全員が加入するがん対策推進議員連盟を結成し、毎年患者さんとの懇談会を開催して、要望を県に反映させる中で、奈良県のがん対策は大きく前進してきたと思います。

全国的な運動も活発に展開されています。去る十月十九日に、第一回地域と国をつなぐ乳がん・子宮頸がん検診促進全国大会が、東京の虎ノ門ヒルズで開催されました。超党派の国会議員の呼びかけで、全国から地方議員が参加し、奈良県からは私と山中議員が参加させていただきました。

国のがん対策推進基本計画では、平成二十八年度を目標に、乳がん、子宮頸がんは受診率五〇%、胃、肺、大腸は当面四〇%を目指すとされています。また奈良県は、平成二十九年度に五つのがんとも五〇%とする目標を設定しています。全国のがん検診受診率を調べてみますと、二〇一三年OECDヘルスデータによれば、乳がんでは日本は三六・四%なのに対し、アメリカ、オランダ、イギリスなどでは七〇%から八〇%、中でも最も高いオランダでは八五・六%の受診率になっています。おくれて検診の普及に取り組んだ韓国でも七四・一%です。

統計のとり方に多少の違いがあるかもしれませんが、それにしても諸外国に比べて、まだまだ受診率は低いと言わざるを得ません。

また十八歳未満の子どもを持つがん患者は、全国で年間五万六千人に上るとの推計が、国立がん研究センターから発表されました。その患者の子どもさんの数では八万七千人です。仮に百分の一が奈良県と

仮定すれば、実に八百七十人の子どもさんの親ががん患者ということになります。私は、若いお母さんから乳がんになったことを子どもにどう伝えていいのか悩んでいるといった相談をいただきました。

県教育委員会では、中学生、高校生に対してがんに対する正しい理解とがん患者に対する正しい認識を深めるため、がん教育に関する教材リーフレットを作成するとともに、モデル校による授業を実施するなど、取り組みを進めていただいています。

このような取り組みを通して、親と子のがんについて正面から受けとめ、勇気と希望を持って話し合いができるようになることを願っています。

二人に一人ががんになり、三人に一人はがんで命を落とす時代です。がんによる死亡者を少しでも減らすために、がんの早期発見、早期治療が重要です。そのためには、一人でも多くの方にがん検診を受診していただく必要があります。

そこで、健康福祉部長に伺います。

奈良県のがん検診受診率の現状はどうでしょうか。また、奈良県の目標であるがん検診受診率五〇％達成に向け、どのように取り組んでいるのかお聞かせください。

#### ◎ 健康福祉部長（土井敏多）

二つ目のご質問は、がん検診の受診率向上について、本県の受診率の現状はどうか。また、がん検診受診率五〇％の目標達成に向け、どのように取り組んでいるのかとのお尋ねでございます。

まず本県のがん検診受診率は、平成二十五年度で胃がん三七・二％、肺がん三五・五％、大腸がん三五・八％、子宮頸がん三九・二％、乳がん三九・四％となっており、いずれも全国平均を二ポイントから七ポイント下回っております。また全国順位では、三十四位から四十六位となっており、全国的に見ても低迷している状況でございます。

県といたしましては、がん検診の受診率を向上させるため、受診対象者への個別受診勧奨、未受診者への再勧奨を実施する市町村に対して支援を実施しております。

平成二十六年度に取り組んだ川西町では大腸がん検診の受診者数が前年度より二・四倍に、王寺町では子宮頸がんの検診受診者が一・八倍、乳がん検診では一・七倍にふえるなど、確実に成果が上がっております。

今後とも、この取り組みが広がるよう、市町村を支援してまいりたいと考えております。

また、がん検診の機運醸成を図るため、平成二十四年度に、がん検診を受けよう！奈良県民会議を設立いたしました。現時点で、奈良県議会をはじめ、県内の経済・労働団体、保健・医療機関、がん患者会、市町村など百十六団体に会員としてご登録いただいております。

昨年度、がん検診を受けない理由を調査したところ、時間的余裕がない、面倒だから、健康なので必要ないと回答した人が多かったことから、本年度は地域や家庭、職域、市町村、県それぞれの立場でがん検診を受けやすい環境づくりや、正しい知識の啓発に取り組んでいるところでございます。

また県議会議員の皆様をはじめ、多数の会員の方々の参加を得まして、毎年十月十日の奈良県がんと向き合う日には、県民の方を対象にしたがん検診受診啓発キャンペーンを実施し、がん検診受診の働きかけを行っております。

このほか、平成二十五年度から、草の根的なボランティア活動を推進する、がん予防推進員の養成に取り組んでおります。昨年度までに五つの市町で百七十八名の方を養成し、今年度は新たに三郷町、高取町でも養成講座を実施しているところでございます。

今後とも、市町村、県内各企業・団体と連携し、がん検診を受けやすい環境づくりと正しい知識の普及、機運醸成に努め、平成二十九年まで受診率五〇%の目標を達成できるよう強力に取り組んでまいりたいと考えております。

以上でございます。